

## 議事録（概要）

会議名	令和5年度 第1回芦屋町環境審議会					
開催場所	芦屋町役場3階 31会議室					
開催日時	令和5年8月31日（木） 15:00～16:00					
委員の出欠	会長	松本 亨	出	委員	香田 一之	出
	副会長	福原 光次	出	委員	山下 高志	出
	委員	鶴原 修	出	委員	堤 裕嗣	出
	委員	福島 直人	出	委員	森 麻由美	出
	委員	田中 太	出	委員	中西 新吾	出
議 事	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 芦屋町環境審議会について</li> <li>(2) 第2次芦屋町環境基本計画策定に係る諮問</li> <li>(3) 第2次芦屋町環境基本計画の構成について</li> <li>(4) 今後のスケジュール</li> <li>(5) 令和4年度事業評価について</li> <li>(6) その他</li> </ul>					
合意・決定事項	<p>○第2次芦屋町環境基本計画について 第2次芦屋町環境基本計画の構成について説明し、委員の意見をいただいた。今回いただいた意見を踏まえて計画の策定を進めていく。</p> <p>○令和4年度環境基本計画の事業評価の報告 各事業の評価（主にC）について説明し、委員の意見をいただいた。</p>					

# 令和5年度 第1回芦屋町環境審議会 議事録

## 1. 委嘱状の交付

代表して松本委員に町長より委嘱状の交付を行った。

## 2. 町長あいさつ

委員の皆様については、暑い中、またお忙しい中お集まりいただき、厚く御礼申し上げます。

芦屋町は、長い歴史、地域に伝わる伝統、美しく豊かな自然が今に引き継がれてる。しかし、近年のライフスタイル・社会経済活動の変化により、ゴミや都市美観などの地域の問題から、地球温暖化、生物多様性などの地球規模の問題まで、複雑・多様化した環境問題が、顕著化している。このようなことから、住民・事業者・町が連携・協力し、より良い環境を未来に繋ぎ、住みたくなる町を目指して、町の環境課題に取り組むための基本的な指針として、平成26年3月に芦屋町環境基本計画を策定した。

本日の会議は、今年度をもって、当初策定した現行の計画が期間満了となるため、第2次芦屋町環境基本計画の策定に向けて開催するものであり、今後の計画策定にあたり、皆様のご意見、ご提案をよろしくお願い申し上げます。

## 3. 委員紹介

名簿順に自己紹介を行った。

## 4. 会長、副会長の選任

委員からの推薦がなかったため、松本委員を会長、福原委員を副会長とする提案を事務局が行い、承認された。

## 5. 議題

### (1) 芦屋町環境審議会について

環境審議会の役割や任期等について事務局より説明を行った。

(意見・質問) なし

### (2) 第2次芦屋町環境基本計画策定に係る諮問

第2次芦屋町環境基本計画の策定について、副町長より諮問書を交付した。

### (3) 第2次芦屋町環境基本計画の構成について

第2次芦屋町環境基本計画の構成について、事務局より説明を行った。

(意見・質問)

○第4章の目指す環境像については、現行計画の環境像を継続する形で良い。

○第4章 3環境目標案④【地球環境】「気候変動に適応したカーボンニュートラルなまちづくりを進めます」について

・カーボンニュートラルという言葉については、もっとわかりやすい言葉を使用した方がいいのではないか。

・芦屋町でゼロカーボンを目指すのか、他の地域での削減量と相殺する形でゼロとするのか等で、選択する言葉が変わってくる。

・気候変動の適応とカーボンニュートラルは別の話なので、そこは意識しておいた

方が良い。

⇒会長とも相談し、修正した案を次回までに提示したい。

○地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の説明が欲しい。

⇒今回は資料を用意していないので、後日説明する。

○第5章について、4【地球循環】とあるが、【地球環境】の誤りではないか。

⇒修正する。

○30by30 や、カーボンニュートラル 2030、プラスチックに関しても 2030 に目標があり、今回の環境基本計画は非常に大事な時期のものになる。

○航空写真や町の写真を使用する場合は、古い写真を使わないように気を付けてほしい。

#### (4) 今後のスケジュール

今後のスケジュールの説明及び7月に実施した住民アンケートの回答状況の報告を事務局より行った。

- ・アンケート回答状況 2,000人に送付し、回答は680件（紙回答549件、WEB回答131件）で、回収率は34%であった。

（意見・質問）なし

#### (5) 令和4年度事業評価について

環境基本計画の令和4年度事業評価について、事務局より説明を行った。

- ・前年度より評価が下がったのは5事業、評価が上がった取り組みは6事業であった。
- ・評価がCとなった事業は2事業

①33ページ 不法係留船対策の促進

理由：新型コロナウイルス感染症拡大のため会議の開催がなく、要望の機会がなかったため。

②51ページ 浄化センターにおけるバイオマスエネルギーの有効利用

理由：実施目標の電力料金削減を達成できなかったため。

- ・数値目標については、17事業中7事業が目標達成。

（意見・質問）

○浄化センターにおけるバイオマスエネルギーの有効利用について

- ・去年は評価がAであった。消化ガスの有効利用量が大きく変わることはあまり考えられない。何か理由があったのか。
- ・流入水量減少とあるが、その理由は何か。
- ・目標をコスト削減ではなく、物理的な量にした方が良い。コストを目標とすると、単価の上昇等で、町の努力とは関係ないところで決まってしまう。

⇒担当部署に確認し、後日回答する。

○鋳物師独立支援事業について、芦屋釜のPRが足りないように思う。SNSの利用や外部委託、しっかりとした広告を作成するなど、若者にも届く工夫をしてほしい。

⇒来年度以降の目標については、担当部署と調整する。

#### (6) その他

事務局より口座登録に関する事務連絡を行った。